

## A「お金をたくさん稼ぎたい」の順位が高い人

年収が高い企業をチェックしましょう！

当ブログ「恋と業界研究(3)」でも述べたように、業界により年収の高低が大きく変わってきます。

ただし年収が極めて高い仕事は、**ハードワーク**であることが多いと言えるでしょう。労働時間が長く、超過勤務や休日出勤が多く、勤務形態が不規則であったりする企業が多いと思います。また数年ごとに全国転勤（場合によっては、海外に赴任）が強いられる企業もあると思います。成果主義を導入している外資系企業では、常に結果を出し続けることが求められるため、**プレッシャーもそれなりに高い**と認識すべきでしょう。

しかしそれでも、「バリバリ働き、高収入を得てみたい」という方は、下記の業界や企業をチェックされてみて下さい。

→コンサルティング業界、投資会社、放送キー局

←賃金カーブのおじぎが少ない業界もオススメです。詳細は、「恋と業界研究(3)」をご覧ください。

## B「有名な企業に行きたい」の順位が高い人

ネームバリューを重視されるあなたに覚えておいて頂きたいことがございます。

それは、**企業のネームバリューと競争倍率は、正比例**の関係があるということです。

この点については、『就職四季報』等に掲載されている採用情報を見て頂ければ、ご納得頂けるのではないのでしょうか？ただし、ネームバリューのある会社でバリバリ働くことは、働きがいがあるでしょうし、給与や福利厚生などの面で恩恵を受ける側面も大きいと言えるでしょう。

「難関ではあるけれども、チャレンジしてみたい！」、そういうあなたは、下記の業界に属する企業をオススメさせていただきます。

→大手食品メーカー、大手電機メーカー、大手日用品メーカー、メガバンク

## K「家族の方を優先したい」、I「結婚したい」、J「子どもが欲しい」の順位が高い人

収入や仕事内容よりも、**プライベートを優先したい**というあなたは、公的な性質を備えた法人や、インフラ系企業がオススメです！

ただし近年は、プライベートを優先させたい就活生が増加しているため、倍率は年々高まっている傾向にあります。大手企業だけを志望するのではなく、そのグループ企業（グループ会社）にも網を広げると、内定獲得の可能性が高まるのではないのでしょうか？

また結婚後も仕事と家庭、仕事と育児を両立させたい方は、**女性社員が高い企業**をチェックされて下さい。なぜなら、こうした企業では、ワークライフバランスに関する社内の制度や仕組みが整備されているところが多いからです。企業の採用HPなどをよく確認されてほしいと思います。

→公務員、大学職員、財団法人、社団法人、インフラ系企業及びそのグループ企業

→女性社員の割合が高い企業、女性の勤続年数が長い企業

## C「残業は多くてもよい」の順位が高い人

あなたは、仕事にやりがいをお求めているのではないのでしょうか？つまり、休暇が取得しづらかったり、残業が多かったとしても、とにかく一生懸命働きたい、やりがいのある好きな仕事につきたい、そうお考えなのではないのでしょうか？

仕事に対して「ひたむきな」気持ちを持てる人は、とても素敵だと思います！

そういう方は、自分の興味・関心を追求できる仕事、自分の仕事の成果がダイレクトに評価される仕事がオススメです（これらの仕事についている人で、実際にやりがいをもって働いている人は極めて多いからです）。募集人数が少なく倍率が高かったり、一定の専門性が求められたりしますが、Cの順位が高い人は、下記の仕事を選択肢に入れてみてはいかがでしょうか？

→研究職、デザイン職、教員、新聞社、出版社、TV局

## D「実力主義がよい」、E「出世がしたい」の順位が高い人

D、Eの優先順位が高いあなたは、年功序列型の企業よりも、能力や成果（売上実績、販売実績）によって評価が決まり、インセンティブとして収入に反映される業界がオススメといえるでしょう。

ただし、実力のある人は稼げますが、そうでない人は稼げません。Aと同様、労働時間は長くなる傾向にありますし、高いプレッシャーの中、結果を出していくことが求められます。

けれども、それでも「実力主義がよい」「出世がしたい」というあなたは、下記の業界にチャレンジしてみてもいかがでしょうか？

→証券会社、生命保険会社、不動産会社

## D「年功序列がよい」「出世にはこだわらない」の順位が高い人

あなたは、実力主義とは真逆で、どちらかと言えば、安定してコツコツと働きたいと思われているのではないのでしょうか？安定して長きに渡り働くこと、とても大切なことだと思います！

こうした志向性を持たれている方は、年功序列型のシステムを取り、かつ定型的業務が多い仕事と親和性が高い（相性が良い）のではないのでしょうか？そういうあなたには、まず下記の仕事をオススメしたいと思います！

→インフラ系企業、公務員

## F「将来は起業したい」の順位が高く、家業を継ぐ予定がある人

家業を継ぐ予定の人は、家業と同じ業界で働く方が一般的なようです。

ただし、「あえて違う世界を見てみたい」という明確な意志に基づき、家業とは全く異なる業界に飛び込まれる方も一定数存在します。それゆえ、家業を継ぐ前に何を学びたいのか、何を経験したいのかを考え、企業選択をされることをオススメいたします！

→家業と同じ業界（ただし違う業界もあり）

## F「将来は起業したい」の順位が高く、新たに会社を立ち上げたいと思っている人

新たに会社を立ち上げたいと思っている方は、2種類の選択肢をオススメしたいと思います。  
一つ目は、ベンチャー企業に就職し、多岐に渡る業務を経験するという選択肢です。若いうちに多種類の業務を経験できれば、その経験は自分が組織を統率する立場になった時に必ずや生きてくるはずで  
また、有名企業や大手企業に就職し、箔をつけるという選択肢も考えられます。「〇〇会社出身」という肩書は、ネームバリューとして作用します。そのことは、クライアントの信頼や信用を勝ち得ることにつながる  
ことが期待できるでしょう。

→ベンチャー企業、大手有名企業

## F「一生、会社員でいたい」が高い人

あなたは、安定して働いていきたいと思ってるのではないのでしょうか？そんなあなたは、安定性が高く、長きに渡って存続して行くことができる企業を選ぶのがベストと言えるでしょう。

→大手ゼネコン、大手自動車メーカー、インフラ系企業

## G「全国転勤してもよい」が高い人

アクティビティが高いあなたにオススメの職種は、大手企業の総合職になります。  
大手企業では、業界・業種を問わず全国に営業所や工場を持っていますので、総合職につけば、ほぼほぼ全国転勤を経験できると言えるでしょう。

→全国展開する企業の総合職

## H「転勤するのがイヤ」が高い人

地元志向が高かったり、プライベートをより大切にしたいと思われているあなたにオススメの仕事は、一般職やエリア総合職になってきます。これらの職種は、勤務地限定の枠であり、育児や介護など、家庭を大切にしたい方にうってつけの仕事と言えるでしょう。一般職の採用率は年々減少傾向にありますので、学校推薦も視野に入れてみるとよいでしょう。もちろん、地方公務員もオススメです！

→一般職（銀行、メーカー、総合商社）、エリア総合職（銀行、生命保険、損害保険）

## H「海外で働きたい」が高い人

海外で幅広く活躍されたいという方は、海外で手広く事業展開を行っている総合商社やメーカーを第一選択肢として考えてみてはいかがでしょうか？

今後海外展開に注力していく企業はどんどん増えていきますので、海外展開をいとわないあなたは、そうした企業から「求められる人材」になりうると考えられます。

→総合商社、食品・機器メーカー、旅行代理店、航空会社（CA）